

No. 4 事業名 但馬空港周辺用地の利活用	23年度 予算額	399 千円	新規 拡大 継続
------------------------	-------------	--------	----------------

1 現況

兵庫県と豊岡市の各土地開発公社が平成3年度から但馬空港周辺用地約855haを対象として先行取得に着手し、現在約792haを保有している。

その後、社会情勢が大きく変化し、具体的な土地利用計画は策定されていない状況の中、兵庫県土地開発公社用地の公立豊岡病院新築事業だけが竣工した。

一方、豊岡市土地開発公社用地では、合併後も具体的な利用計画の策定に至らず、取得した約202haがいわゆる「塩漬け」の状態であり、毎年約2,200万円の用地取得に係る利息が嵩んでいる現状である。

2 事業目的（趣旨）

但馬空港周辺用地については、これまでの累積利息が約2億8,846万円（平成22年度末見込み）にも及んでいる。将来世代の負担をこれ以上増やさないためにも、早期に一般会計での買戻しを行う必要がある。

極力投資額を抑えながら、森林の持つ特性を生かした利活用を検討する。

3 全体の事業内容

(1) 内容

- ・「(仮称)空港周辺里山ふれあいの森」構想の策定
- ・豊岡市土地開発公社より用地の買戻し
- ・里山林整備、道路整備など

(2) 事業期間

平成23年度～平成25年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

約1,900,000千円(合併特例債活用予定)

4 23年度予算

(1) 予算額

399千円

(2) 事業内容

- ・植生等調査
- ・兵庫県と豊岡市による検討委員会を設置し、中長期的な利活用の検討
- ・「(仮称)空港周辺里山ふれあいの森」構想の策定

No.5	事業名	ふるさと雇用再生基金及び 緊急雇用就業機会創出基金 を活用した雇用対策	23年度 予算額	124,512 千円	新規 拡大 継続
------	-----	-------------------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本市における厳しい雇用失業情勢に鑑み、離職を余儀なくされた失業者に対して、一時的な就業機会を提供するとともに、地域の実情に応じた継続的な雇用機会の創出を図る。

特に、観光、環境・エネルギー、地域社会雇用、教育・研究等の重点分野に係る事業については、事業を拡大するとともに実施期間を平成24年度まで延長する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①ふるさと雇用再生基金事業（平成23年度まで）

地域求職者等を雇い入れて雇用機会を創出する取り組みを実施し、地域における継続的な雇用機会を創出する。雇用期間は原則1年以上。

②緊急雇用就業機会創出事業（平成23年度まで）

離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の就業機会を提供することで生活の安定を図る。雇用期間は最長1年。

③重点分野雇用創出事業（平成24年度まで）

観光、環境・エネルギー、地域社会雇用、教育・研究等の重点分野における失業者に対する短期の雇用・就業機会を提供する。雇用期間は原則1年以内。

(2) 事業期間

平成21年度から平成24年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

345,203千円（基金補助率10/10）

3 23年度予算

(1) 予算額 124,512千円

(2) 事業内容

①ふるさと雇用再生基金事業…バッファゾーン整備事業（新規雇用者6名）

②緊急雇用就業機会創出事業…障害者受託作業関連事業（新規雇用者2名）

育児不安等相談事業（同1名）スマイル美知ロード事業（同8名）

林道環境整備事業（同7名） 中学校不登校対策事業（同8名）

文化財適正管理事業（同2名） 小学校不登校対策事業（同2名）

③重点分野雇用創出事業…山陰海岸ジオパーク支援事業（新規雇用者8名）

（新規）湿地を中心とした生物多様性保全支援事業（同2名）

（新規）コミュニティアート支援事業（同1名）

（新規）発達障害児等支援補助教員設置事業（同2名）

（新規）複式学級指導補助教員設置事業（同4名）

担当課名【財政課】（内線2051）

No.6 事業名 非常備消防の充実	23年度 予算額	79,862 千円	新規 拡大 継続
-------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市民の生命財産を火災から守るため、消防団に配備されている消防ポンプ車、小型動力ポンプ等のうち、老朽化が著しいものについて計画的に更新し、非常備消防力の充実を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

整備後 20 年を経過する消防ポンプ車、小型動力ポンプを順次更新する。

また、消防ポンプ車の更新の際、車両の大型化により既存のものでは格納できない車庫について改築を行う。

本年 10 月、横浜市において開催される「第 20 回全国女性消防操法大会」に、兵庫県代表として「豊岡市女性消防隊」が出場する。

(2) 事業期間

平成 23 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

79,862 千円

3 23 年度予算

(1) 予算額

79,862 千円

(2) 事業内容

- ・消防ポンプ自動車 3台 豊岡第12分団、竹野第1分団、日高第17分団
- ・小型動力ポンプ 2台 但東第3、第6分団
- ・消防車庫改築 2棟 豊岡第12分団、竹野第1分団
- ・全国女性消防操法大会出場経費 旅費、被服等

No.7	事業名 災害対策の充実	23年度 予算額	12,549 千円	新規 拡大 継続
------	-------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

災害時の安全確保のため、災害対応に従事する正規職員（消防職を除く）を対象に、災害時に着用が必要となるヘルメット及び雨合羽を配備（貸与）する。市民向け情報発信として、NTTドコモの緊急情報「エリアメール」により、市内に居住・滞在する者に緊急情報を発信し、円滑な避難支援等に資する。また、兵庫県と但馬地域の各市町が共同実施する合同防災訓練に参加する。その他、22年度から対応を行っている防災支援員（市職員 0B）を引き続き各総合支所へ配置し、地域の防災体制の充実・強化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 職員用ヘルメット及び雨合羽の配備 【新規】
- ② NTTドコモ緊急情報「エリアメール」への加入 【新規】
- ③ 兵庫県合同防災訓練への参加 【新規】
- ④ 各総合支所への防災支援員の配置

(2) 事業期間

平成 23 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 23 年度予算

(1) 予算額

12,549 千円

(2) 事業内容

- ① 災害時に備えた職員用ヘルメット及び雨合羽の配備（835 人程度）
- ② NTTドコモ緊急情報「エリアメール」へ加入した情報発信の体制を構築
- ③ 兵庫県と但馬地域の各市町が共同実施する合同防災訓練への参加
- ④ 各総合支所への防災支援員（市職員 0B）の配置

担当課名【防災課】（内線 2192）

No. 8	事業名 防災公園の整備	23年度 予算額	340,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

現在、日高地域の円山川流域において、国土交通省などの協力により、激特事業による築堤工事及び農地等の環境整備事業が実施されているが、日高地域の市街地に位置する県有地（旧蚕業技術センター跡地：約 0.6ha）を取得し、災害に備えた防災公園を整備する。

また、市役所本庁に近接する個人所有地（約 0.3ha）を取得し、平時は駐車場として活用しつつ、一丁有事の災害時には、災害対策拠点として活用する防災公園を整備する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

【日高】ライフライン停止時における応急措置、中長期仮設住宅の建設が可能な状態とし、平時は市民の憩いの場としての機能を図るべく整備する。

（芝生広場、生活用水槽、仮設トイレ便槽、備蓄倉庫、遊具など）

【豊岡】一丁有事の災害時に、災害対策本部が設置される本庁舎に近接していることから、平時は備蓄倉庫が設置される駐車場として活用しつつも、災害時にはトリアージポストの設置、支援物資の集積場所、緊急車両の駐車場スペース機能を持つ公園として整備する。

(2) 事業期間

【日高】平成 23 年度～平成 25 年度

平成 24 年度 建物撤去 平成 25 年度 整備工事

【豊岡】平成 23 年度～平成 24 年度

平成 24 年度 整備工事

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

【日高】未定（平成 23 年度に実施する実施設計により方針決定する。）

【豊岡】未定（面的な整備方針については、平成 23 年度に決定する。）

3 23 年度予算

(1) 予算額

【日高】 10,000 千円（実施設計）

【豊岡】 330,000 千円（用地、樹木、塀、倉庫、解体費含む）

(2) 事業内容

【日高】当該地について、県と協議を進め、年度内に無償譲渡を受ける。

【豊岡】土地のほか、現在の風景を継承すべく、塀や桜をはじめとする樹木を取得するとともに、備蓄倉庫として活用するため、倉庫（1 棟）も併せて取得する。

担当課名 日高・・・【日高：地域振興課】（内線 5402）

豊岡・・・【総務課】（内線 2171）

No. 9	事業名 防災対策の充実	23年度 予算額	13,078 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

子ども防災監養成講座、台風 23 号メモリアル事業を実施し、過去の災害の経験や教訓を風化させることなく、市民の防災・減災意識の高揚を図る。自主防災組織の活動支援として、消防団と自主防災組織合同の水防訓練や自主防災組織を対象としたリーダー研修会を開催するとともに、引き続き、自主防災組織の資機材整備の補助事業を継続し、地域の防災力の向上を図る。

また、22 年度から実施している年間を通じた職員の災害対応能力の向上を図るための防災研修を引き続き実施するとともに、22 年度に市民の防災意識の高揚を図る目的で実施した、防災専門家の出演による防災啓発番組「防災ワンポイント」の冊子を購入し、各種防災啓発に活用する。

その他、保存年限を迎える備蓄物資の更新を行い、適正数量の確保を図る。

2 23 年度予算

(1) 予算額

13,078 千円

(2) 事業内容

- ① 夏休み子ども防災監養成講座（7 月～8 月）
- ② 台風 23 号メモリアルでの写真展や炊き出しなど防災イベントの実施（10 月）
- ③ 防災専門機関と協働した職員防災研修の実施
- ④ 自主防災組織の訓練支援
- ⑤ 防災啓発番組「防災ワンポイント」冊子の購入
- ⑥ 自主防災組織リーダー研修会の開催
- ⑦ 自主防災組織資機材整備事業補助金の交付
（23 年度から補助対象物品に、新たに「AED」を追加）
- ⑧ 災害時避難所備蓄物資の整備〔α化米・飲料水〕
（計画に対する 100%の整備率を目標とする。）

担当課名【防災課】（内線 2192）

No.10	事業名	文書管理システム(ファイリングシステム)の導入	23年度 予算額	8,300 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的(趣旨)

新庁舎建設を機に、文書の発生から廃棄までを統制し、文書の即時検索及び他者検索を可能にすることにより、組織として必要な文書の確保と共有を図ることによって、文書量の抑制による将来にわたる庁舎の適正規模の維持と最適な組織的意思決定支援に資することを目的とする(文書の共有化及び可視化により、組織全体の記憶を活用できるようになる)。

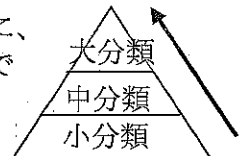
2 全体の事業内容

(1) 内容

新庁舎建設を契機として、紙による公文書管理の仕組みとしてファイリングシステムを導入する。

初年度に全管理職が研修を受講して文書管理に対する意識を改め、新庁舎に移転する部署へ優先的にファイリングシステムを導入する。平成25年度以降は、職員主導でファイリングシステムを導入する。

- ① 導入を予定しているファイリングシステムは、フォルダと3段横型キャビネットを活用し、文書の集まりごとに分類を積み上げていくツミアゲ方式の文書管理である。
- ② ツミアゲ方式とは、実際の文書を、小分類、中分類、大分類というように、下から上へ分類してフォルダに収め、ガイドを立ててまとめ上げる方式である。なお、現行は、文書分類表を作成し、その表に基づき文書を分類するワリツケ方式である。



《参考図》

(2) 事業期間

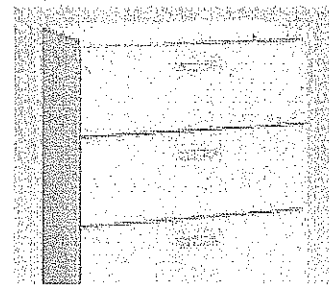
平成23年度から平成26年度

(3) 事業主体

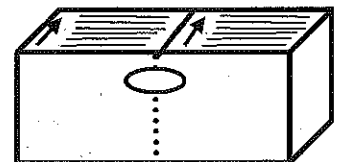
豊岡市

(4) 全体事業費(補助率・負担率等)

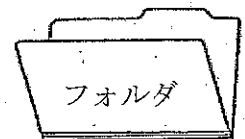
47,685千円



3段横型キャビネットの例



引出しを中央で区切り、縦方向に文書を収納する。



3 23年度予算

(1) 予算額

8,300千円

(2) 事業内容

新庁舎へ移転する部署のうち、5課程度をモデルブロックとし、先行してファイリングシステムを導入する。その結果を踏まえて、他の部署へファイリングシステムを導入する。

具体的には、コンサルタントによる職員研修を行い、ファイリングシステムについての実施指導を受け、3段横型キャビネットとフォルダを用いて文書を管理する方式へ移行する。

4 その他参考事項(事業内容の詳細等)

現行の簿冊方式とファイリングシステムとの消耗品費との差額6,508千円で試算すると、導入後9年で投資費用を回収できる。

担当課名【総務課】(内線2132)

No. 1 1	事業名	兵庫県議会議員選挙及び農業委員会委員選挙	23年度 予算額	44,075 千円	新規 拡大 継続
---------	-----	----------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

任期満了（平成 23 年 6 月 10 日）による兵庫県議会議員選挙（統一地方選挙）及び任期満了（平成 23 年 4 月 20 日）による農業委員会委員選挙の執行

2 全体の事業内容

(1) 内 容

兵庫県議会議員選挙の執行に係る経費

①投票所経費②期日前投票所経費③開票所経費④ポスター掲示場経費⑤事務費等
農業委員会委員選挙の執行に係る経費

①投票所経費②期日前投票所経費③開票所経費④事務費等

(2) 事業期間

平成 23 年 4 月（兵庫県議会議員選挙及び農業委員会委員選挙）

(3) 事業主体

豊岡市選挙管理委員会

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

37,262 千円（兵庫県議会議員選挙）（県委託金 100/100）

6,813 千円（農業委員会委員選挙）（一般財源 100/100）

3 23 年度予算

(1) 予算額

37,262 千円（兵庫県議会議員選挙）

6,813 千円（農業委員会委員選挙）

(2) 事業内容

兵庫県議会議員選挙の執行に係る経費

①投票所経費②期日前投票所経費③開票所経費④事務費等
農業委員会委員選挙の執行に係る経費

①投票所経費②期日前投票所経費③開票所経費④事務費等

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

・兵庫県議会議員選挙

投票所 89 箇所、期日前投票所 6 箇所、開票所 1 箇所

ポスター掲示場は 3 月中に設置する。

・農業委員会委員選挙

6 選挙区 46 投票所、期日前投票所 6 箇所、開票所 6 箇所

担当課名【選挙管理委員会事務局】（内線 2161）

No.12 事業名 職員研修	23年度 予算額	527 千円	新規 拡大 継続
----------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

- ①国立極地研究所からの派遣要請を受け、南極地域観測隊へ職員を1名派遣する。
- ②コミュニケーションおよび表現の重要性を学び、柔軟な（窓口）対応が出来るよう職員研修を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ①南極地域観測隊へ職員を1名派遣し、(1)得られた知識を広く直接に市民に伝えることにより、環境都市の実現に向けた市民の意識啓発を図る。(2)実体験と研鑽を積ませることにより、職員全般の環境意識を高め、環境都市・豊岡の実現に資する。(3)こどもたちの極地に対する関心を高めることにより、植村直己の精神である冒険心を育て、逞しく生きる力の涵養に資することを目的とする。
- ②コミュニケーションの意義や重要性を、演劇ワークショップを通じて再確認する。

(2) 事業期間

- ①平成23年7月～平成25年5月
- ②平成23年4月1日～平成24年3月31日

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

- ①447千円
- ②98千円

3 23年度予算

(1) 予算額

- ①429千円
- ②98千円

(2) 事業内容

- ①平成23年6月下旬に夏季総合訓練、7月以降隊員として派遣。南極へは23年11月出発する。
- ②複雑多様化する市民ニーズに対応するため、コミュニケーション能力及び表現力を身につける。

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- ①派遣先：国立極地研究所 ～第53次南極地域観測隊～
派遣期間：約1年10ヶ月（平成23年7月～平成25年5月）
- ②講師予定：兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）

担当課名【職員課】（内線2154）

No.13 事業名 行政情報化システムの最適化	23年度 予算額	354,800 千円	新規 拡大 継続
-------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

庁内で利用する情報システムについて、システムの複雑化、運用作業の増大、資源の重複投資等といった現在抱えている諸課題及び総合窓口、電子市役所等新たに発生する諸課題へ対応するため、全庁的な視点に立った統一的な考え方に基づく情報システム構築を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

本市の税・住民記録などを処理しているホストコンピュータシステムについて、電算コストの削減、トラブル防止、また、総合窓口の導入など住民サービスの向上に対応するため、オープン系パッケージシステム（Windows等の汎用的なOSで稼動する市販システム）への移行を図る。

(2) 事業期間

平成22年度～平成34年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,184,000千円

第1期：平成22年度～29年度 751,000千円

第2期：平成29年度～34年度 433,000千円

3 23年度予算

(1) 予算額 354,800千円

(2) 事業内容

システムの稼動は、固定資産税システムは平成25年3月まで、その他のシステムは平成24年4月までとする。（ただし、固定資産税システムもできる限り平成24年4月までに稼動することを目指す。）

① 全体管理、設計、開発、導入支援など

② 構築対象システムは、住記系（住民記録、印鑑登録システムなど）、税系（個人住民税、法人住民税、固定資産税システムなど）など21システム

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

① システムの平均的なライフサイクルである5年間をサービス提供期間とし、提供前の約2年間をシステム構築期間とする計7年を1期とし、ローリングを行う。

② 平成34年度末の第2期終了までの経費と現行システムを継続した経費とを比較し、約3億8千万円程度の費用削減が可能である。

担当課名【情報推進課】（内線2100）